

宮城教育大学

悩み：聴覚障害学生支援活動に関わる教職員・学生がなかなか増えない…

原因1 障害学生支援は特別な活動だと思っているのでは？

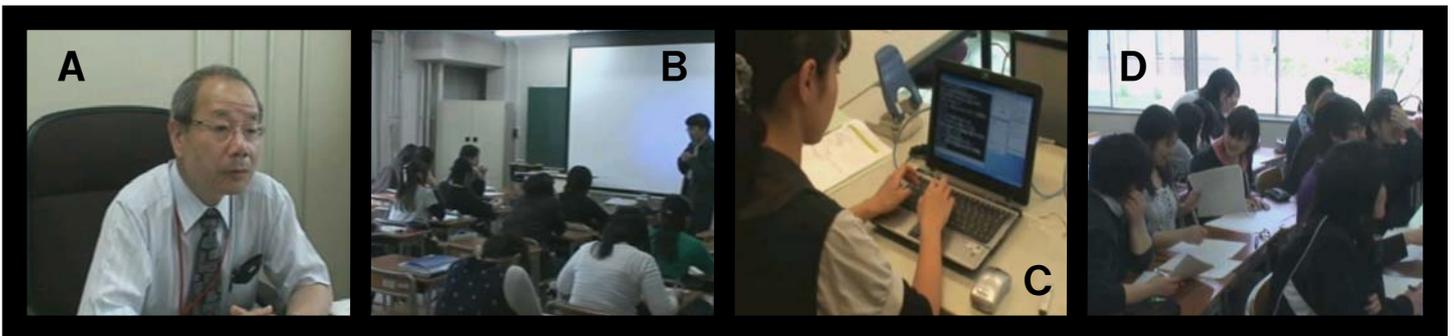
原因2 障害学生支援の組織や活動の全貌が見えにくいからでは？

本学の障害学生支援プロジェクト（全学組織） 聴覚障害グループの学生が主体となってCMを作成！



<内容>

- ・学務担当副学長(障害学生支援プロジェクト代表)インタビュー(A)
- ・講義場面での支援の様子(B)
- ・情報保障手段の紹介
ノートテイク・パソコン要約筆記・音声認識通訳・手話通訳(C)
- ・聴覚障害グループ:学生ノートテイクのインタビュー
- ・聴覚障害グループ:聴覚障害学生のインタビュー
- ・障害学生支援コーディネーターのインタビュー
- ・聴覚障害グループの活動紹介(勉強会場面:初心者と経験者がお互いにテイク技術を話し合い、実践している様子)(D)



みなで聴覚障害学生支援を盛り上げていこう！

教員から
このCM、大変いいですね。ぜひ構内や教室で放映するといじやないですか！？



新入生合宿で実験的に作ったCMを紹介したら、その直後に3名の新入生からボランティア登録の希望がきたよ！すごい効果だ！

問い合わせ先

特別支援教育講座 聴覚・言語障害教育コース 講師 松崎 文

松崎研究室 Fax: 022-214-3501 e-mail: joemk@staff.miyakyo-u.ac.jp